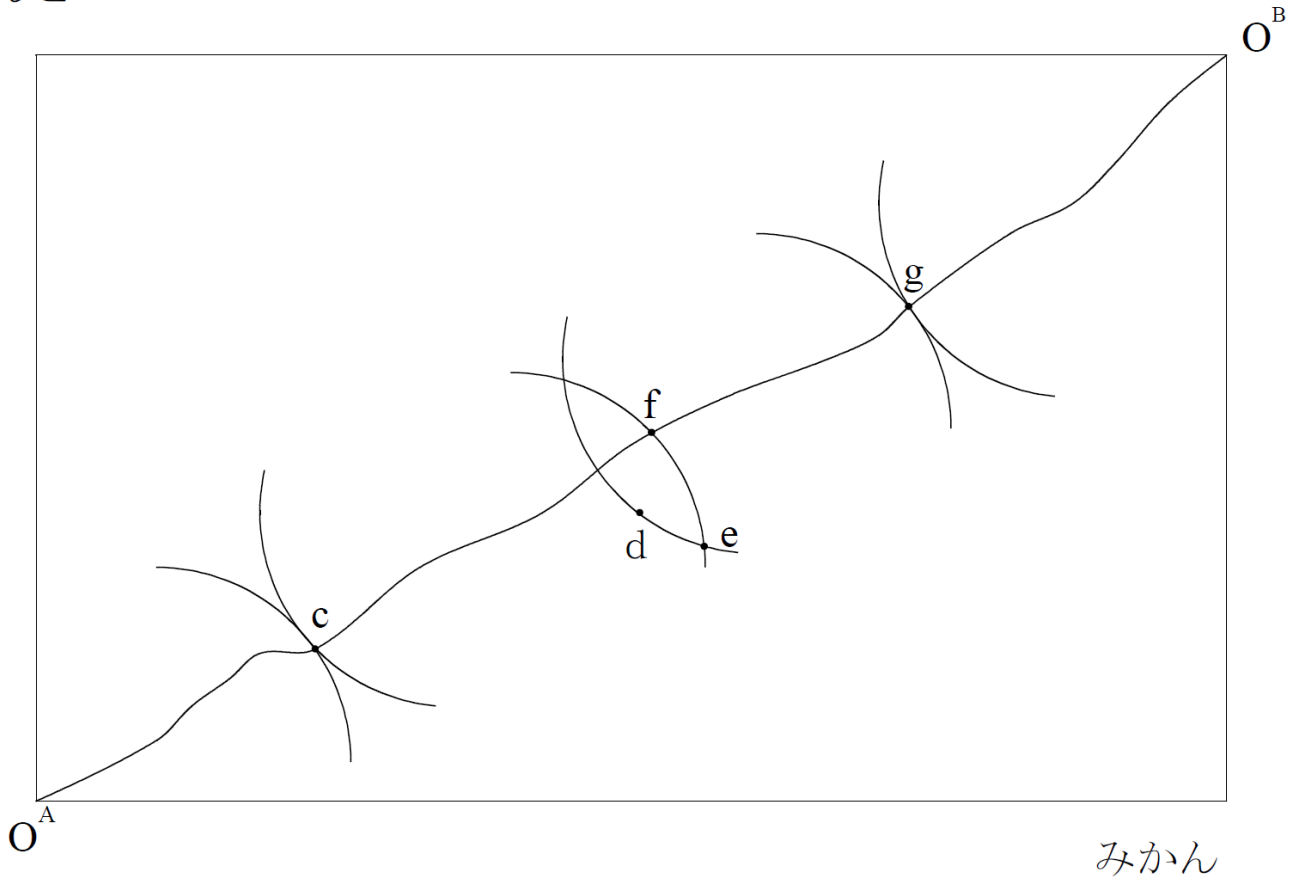


公共経済学

I. 下の図は、りんごとみかんについてエッジワースのボックス図を描いたものだ。この図ではAさんの原点は、 O_A でBさんの原点は O_B で示されている。 $O_A O_B$ は、AさんとBさんの無差別曲線の接点の軌跡である契約曲線である。以下の文章を読み、それぞれ正しいか否かを判断し、解答欄に正しいときは○、間違っているときは×を記入しなさい。(各3点)

りんご



- (1) 契約曲線上のすべての点は、パレート改善を満たしている。
- (2) c 点はパレート改善を満たすが、f 点はパレート改善を満たさない。
- (3) d 点, e 点はパレート最適を満たしている。
- (4) e 点から d 点への移動は、パレート最適となる。
- (5) c 点から f 点への移動は、パレート改善となる。
- (6) e 点から f 点への移動は、パレート改善となる。
- (7) f 点から e 点への移動は、パレート改善となる。
- (8) g 点から f 点への移動は、パレート改善となる。
- (9) f 点から e 点への移動は、パレート最適となる。
- (10) d 点から e 点への移動は、パレート最適となる。

II. ある地域で独占的に電力を供給している企業を考えよう。この企業の直面する需要曲線は、 $P = 103 - Q$ であり、費用関数が $TC = 3000 + 3Q$ であるとしよう。pは価格、Qは数量である。(各5点)

- (1) 固定費用を求めなさい。
- (2) 限界費用を求めなさい。
- (3) 総収入曲線の式を求めなさい。
- (4) 限界収入曲線の式を求めなさい。
- (5) この独占企業が利潤を最大化する場合の最適な生産量を求めなさい。
- (6) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、設定する価格を求めなさい。
- (7) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、この企業が生産量はいくらになるかを求めなさい。
- (8) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、この企業に生じる利潤額を求めなさい。

III. いま社会には Aさんと Bさんの2人しか存在しないとしよう。公共財1単位当たりの費用負担を政府が提示し、Aさんと Bさんは提示された価格のもとでの公共財に対する需要を政府に報告するものとする。公共財の最適な生産水準、Aさんと Bさんそれぞれの費用負担の水準をグラフを用いて説明しなさい。(30点)

解答欄

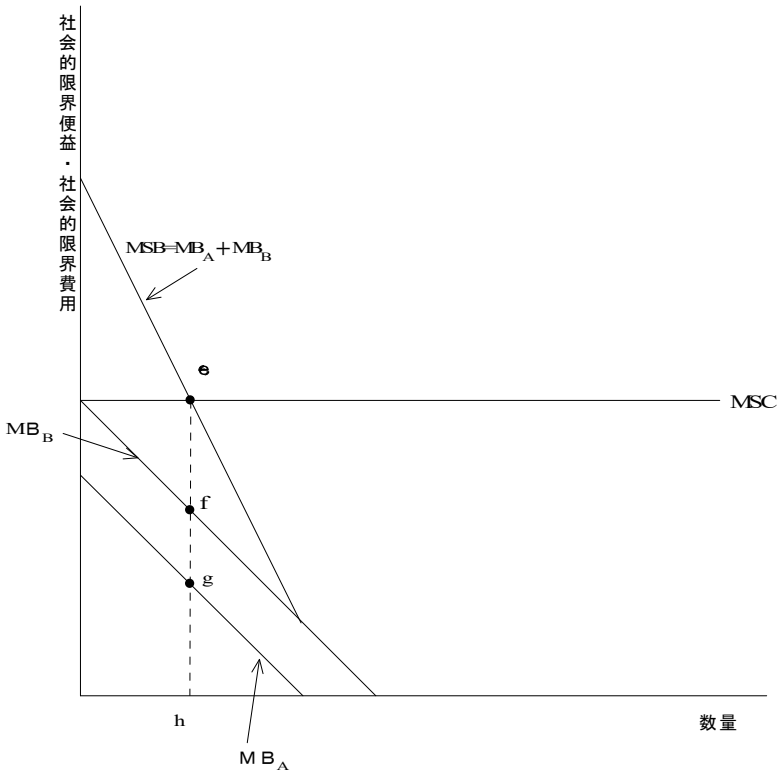
I.

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	×	×	×	×	○	×	×	×	×

II.

(1)	(2)	(3)	(4)
3000	MC=3	TR=(103-Q)Q = 103Q - Q ²	MR=103-2Q
(5)	(6)	(7)	(8)
50	3	100	-3000

III.



Aの限界便益曲線（需要曲線）は、 MB_A 、Bの限界便益曲線（需要曲線）は MB_B とする。社会的限界便益曲線は、AとBの限界便益曲線を垂直に合計したものとなる。図では fh に gh の距離を垂直に合計すると eh となる。公共財の最適供給は h 点で達成される。このときの費用は、Aに gh 、Bに fh の費用負担をさせれば賄うことができる。